

平成27年度 平和祈念展示資料館運営業務 評価表

委員名:

1 業務履行状況

評価項目	評価の着眼点	評価	所見・指摘事項等
① 業務の目的	・業務の趣旨を理解し、基本方針に従い目的の達成に努めているか。		
② 運営管理業務	・円滑に業務を実施するため、明確な責任体制を確立し、計画的に遂行しているか。 ・来館者数は年間5万人程度以上を見込めるか。 ・施設等管理、館内日常管理点検等が適切に実施または準備されているか。 ・館内にアテンドを配置し、受付、案内業務等が適切に実施されているか。		
③ 所蔵資料の保管・管理業務	・総合的な目録を作成するために設置した検討委員会の運営を適切に行っているか。 ・所蔵資料の収納方法の改善を適切に実施しているか。 ・26年度に実施した棚卸しの結果を反映し、分類等データの修正を適切に実施しているか。 ・所蔵資料の劣化防止等保存措置を適切に実施しているか。		
④ 常設展示業務	・実物資料等展示物を適切に管理し、資料保護の観点から、定期的に変更・更新を行っているか。 ・様々な視点で企画した館内展示を実施しているか。 ・GW、夏休み等にあわせて館内での交流イベントを実施しているか。 ・語り部を館内で定期的に配置し、証言を映像等で記録しているか。		
⑤ 館外活動業務	・国民の理解を深める機会を提供するため、地方巡回展等を開催しているか。 ・多様な形態でより効果的な特別企画を実施しているか。 ・戦後70年に関する3館連携事業を適切に実施しているか。		
⑥ 広報等業務	・資料館や館外活動に関する効率的、効果的な広報を実施しているか。 ・インターネットを通じた幅広い情報発信を行っているか。 ・来館者の調査分析を行い、来館促進や展示内容に反映しているか。		
⑦ 業務体制	・外部有識者より、館の顔となる「名誉館長」、「参与」を配置しているか。 ・必要な能力を有する運営要員を配置しているか。		
⑧ 関係会議への対応	・アドバイザーボードにおける資料の作成、会議における説明など適切に対応しているか。 ・厚生労働省、昭和館、しょうけい館等で構成される会議について、資料作成の準備及び出席を行っているか。		
⑨ 報告書等の提出	・運営業務にあたっての実施計画及び報告書等の各種提出書類は、納期までに提出されているか。		

<評価基準>

- A：適切になされている(又は見込まれる)。
 B：努力・改善すべき点はあるが、おおむね適切になされている。
 C：適切になされていない。

2 中期事業計画(平成28～30年度)

評価内容	評価	所見・指摘事項等
① これまでの実績を踏まえた上で、適切な調査・分析に基づいた提案内容となっているか。		
② これまでの実績を踏まえた上で、ポイントを押さえた体系的な計画となっているか。		
③ これまでの実績を踏まえた上で、時代情勢を正確に把握し、斬新・先進的なアイデアがあるか。		
④ これまでの実績を踏まえた上で、実施計画が適切であり、実現性は具体的に見込めるか。		

<評価基準>

- A：優秀と認められる。
 B：改善点はあるが、おおむね優秀と認められる。
 C：優秀と認められない。

3 総合評価

評価	所見・指摘事項等

<評価基準>

- A：業務履行状況等が適切であり、中期事業計画も優秀と認められるので、平成28年度も27年度委託業者に業務委託してよい。
 B：努力・改善すべき点はあるが、平成28年度も27年度委託業者に業務委託してよい。
 C：再度、業者選定のための公募を行ったほうがよい。